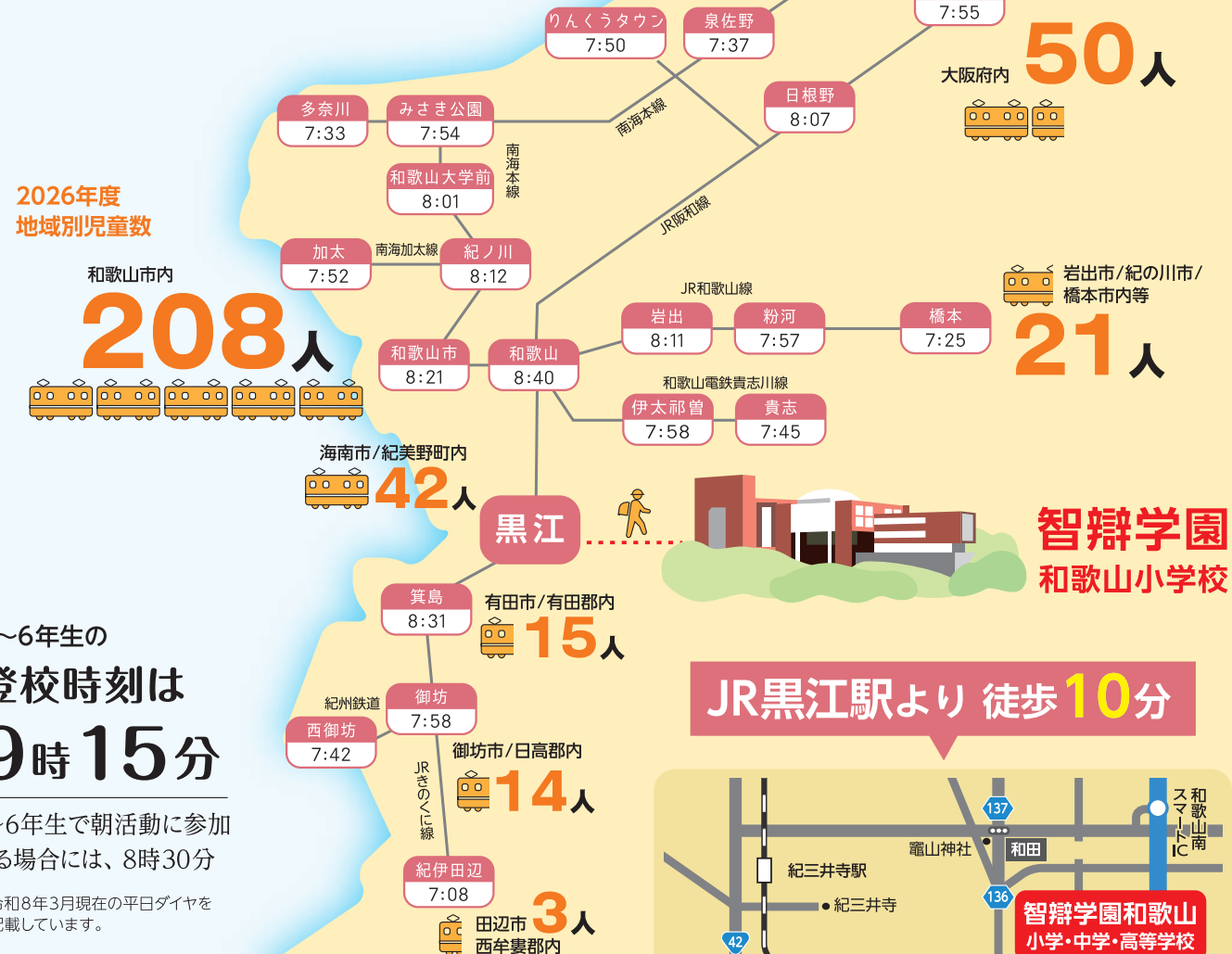


アクセスマップ

各駅の時刻は、本校登校時刻に間に合うための発車時刻



1～6年生の
登校時刻は
9時15分

3～6年生で朝活動に参加
する場合には、8時30分

※令和8年3月現在の平日ダイヤを
記載しています。

JR黒江駅より 徒歩**10分**



智辯学園和歌山小学校

〒640-0392 和歌山県和歌山市冬野2066-1
TEL. 073-479-1200 FAX. 073-479-2827

SNS紹介
ページ



併設校
智辯学園和歌山中学高等学校
TEL. 073-479-2811 FAX. 073-479-1190

兄弟校
智辯学園中学校・高等学校
〒637-0037 奈良県五條市野原中4丁目1番51号 TEL. 0747-22-3191
智辯学園奈良カレッジ小学部・
中学部・高等部
〒639-0253 奈良県香芝市田尻265番地 TEL. 0745-79-1111

ARを使って試着体験!!

スマートフォンアプリ
「COCOAR」をダウンロードし、
表紙の写真を読み込むと、
制服の試着体験ができます。



ダウンロードは
こちらから



智辯学園和歌山小学校

SCHOOL GUIDE 2027



学びと幸せを
探究する小学校
～学びの主人公になろう～



CHIBEN GAKUEN

学びと幸せを探究する小学校

～学びの主人公になろう～

自分が、たのしいと思うこと。

それは「達成感を味わった」とき

「やりたいことができる」とき

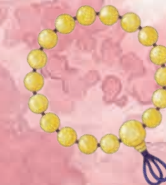
まわりの人が、うれしいと感じること。

それは「自分を大切に扱ってくれていると感じる」とき

もっと学びたい

みんなで楽しもう

ここは、明るく楽しく、ワクワクする学び舎です。



新たな社会を支える
人材の育成を目指して

① 確かな基礎学力と自己調整（自主・自律・自走）を育む

自ら学ぶ目的を持ち、課題の解決に向かう力や、自己の状況を分析し、復習や振り返りを行うことで、深い教科の力と自己調整のできる子どもたちを育成していきます。

② 自分の「やりたい」ことを探し、それを深めていく授業や探究学習を実践する

子どもたちが、自ら「やりたい」ことを探し、それに対して自ら進んで取り組むことができるよう、探究型の活動を充実していきます。

③ 豊かな心で、自他ともに「しあわせ」を感じられる仲間と自分を支えてくれる人への感謝の心を大切にする

家族や友人、自分の周りにいるすべての人への感謝の気持ちを忘れない、豊かで思いやりのある心を育みます。

④ 社会と向き合い、社会に生きるための力を育成する

自分の将来を見据え、これからの社会を生き抜いていくために必要な「非認知能力」をもとに、次世代のリーダーを目指していきます。さまざまな学びを通して自分を深め・高めていく取り組みを継続していきます。

Learning and Happiness

愛のある12年一貫教育

智辯学園和歌山小学校は、思いやりの心に溢れ、いきいきのびのびと学ぶことのできる学校です。そうあるために、教職員が子ども一人ひとりを「我が子のように愛する」ことを信念とし、子どもたちが「誰からも愛される」子たちに成長してほしいと願っています。

子どもと保護者、そして教職員が互いに感謝し、協力し、高め合う三位一体の教育によって、「豊かな心」と「高い学力」を身に付けることができる「愛のある教育」を実践しています。



12年一貫教育で育てる3つの力

- ① 真にゆとりのある充実した学校生活を通じ、たくましい心と体を育てる
- ② 継続した環境と計画の中で、確かな学力と自律的に学ぶ力を育てる
- ③ 宗教的情操教育をもとに、豊かな人間性を育てる

学校とは「学びの共同体」

子ども・教職員・保護者の“三者がともに学び育つ学校”を目指します。

「三者の学び」が、原動力

① 子どもたちが学び育ち合う学校

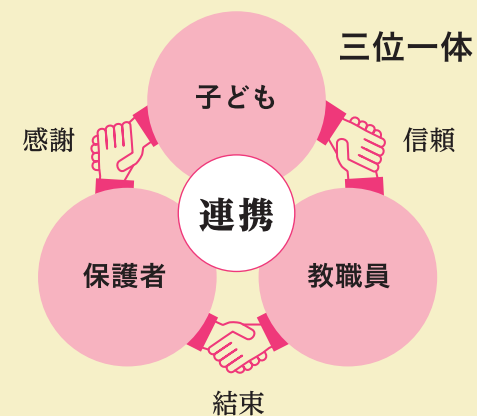
- ・子ども同士が学び合い、対話を通して考えを深める
- ・多様な学び方が尊重され、違いを価値として活かす
- ・教室を「安心して間違えられる学びの場」にする

② 教職員たちが専門家として学び育ち合う学校

- ・授業研究を中心とした、学び続ける教職員文化
- ・教職員同士が互いの授業を見合い、協働で改善を図る
- ・専門性を高め、子どもの学びをよりよく支える

③ 保護者や関係者も参加し、学び育ち合う学校

- ・学校の教育活動に参加し、開かれた学びの場をつくる
- ・地域と学校がパートナーとして子どもを育てる学校は、“地域の学びの拠点”として機能する



三つの好き

子ども は…学校が。学ぶことが。先生が。好き

保護者 は…子どもが。学校が。先生が。好き

教職員 は…子どもが。教えることが。学校が。好き

そのような「子ども」と「保護者」と「教職員」で創る学園です。

毎日ワクワク・ドキドキを大切に

楽しく学ぶために、日々の授業はもちろん、様々な活動を大切にしています。

子どもたちは本来、「知りたい」「何でもやってみたい」「分かりたい」と真剣に願っています。これが、「探究」につながる第一歩です。そして、この経験を積み重ねることで、課題解決の流れをつかみ、それが社会で生きていくための力を培うことにつながります。

考えることが大好きな子どもたちののぞみを叶えてこそその学校です。また、大好きな友達とおもいきり、学び、遊べる学校生活を大切にしています。そして、信頼できる先生たちがいることも重要です。

私たちは「いつも子どもとともに」を大切にし、学校全体で感動が共有できる学園であらうとしています。

学びの主人公である子どもたちのキラキラした目の輝きが、一人ひとりのさらなる成長を促します。



みんなで成長プロジェクト

豊かな人間性と深い学び

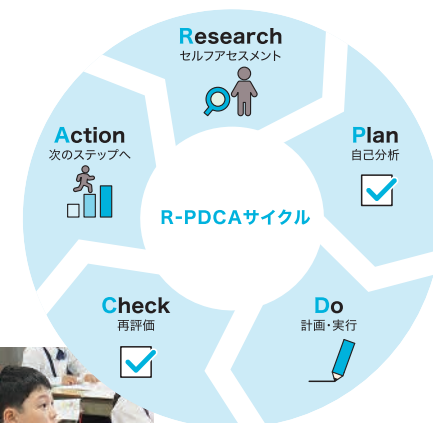
豊かな人間性

心が豊かで、感謝の心を持った品格のある人間性を育みます。思いやりの心は、感謝することへの気づきから生まれます。毎日の学校生活の中で、元気に学校に通えること、周囲の人々に支えられていることを考え、学びます。そして、様々な体験・学習・学校行事を通して、目標に向かって頑張る素敵さと、一緒に過ごす仲間の大切さを実感することで、豊かな人間性が形成されていきます。



自己成長力の向上

自己成長力とは、自分の夢や生き方を構想し、その実現のために自己評価と自己改善をくり返しながら、得意なことを伸ばし、不得意なことにもチャレンジして、周りの人と共に多様な資質・能力を身に付けていこうとする積極性と自己形成的スキルです。



田中 博之
「子どもの自己成長力を育てる」
金子書房 2023

学習サイクルによる 自己成長プロジェクト

- ① セルフアセスメント…自己診断
- ② 自己分析…「今の自分」を客観的に知る
- ③ 計画・実行…具体的な改善策を計画し、実行していく
- ④ 再評価…再度診断を行い、自分の取り組みを評価する
- ⑤ 次のステップへ…評価を基に、新たな改善計画を立案・実践

2026年度からの本校の取り組みに、多角的に助言をいただきます

「自己成長力」の向上を支える助言講師

早稲田大学大学院 教育学研究科 高度教職実践専攻 教授 田中 博之 先生

全国に先駆けて探究的な学びを推進する智辯学園和歌山小学校の取組に大きな期待を寄せています。子どもたちは思考力・判断力・表現力に加え、協働する力やICT 活用力を育みながら、自ら未来を切り拓く力を身に付けていくことでしょう。私もその挑戦を全力で応援しています。



国際教育への取り組み

小学校1年生から6年生まで、Eタイムとして、英語の授業を毎週2時限実施しています。普段から英語に接する機会を持ち、日常的に英語を目にしたり耳にしたりすることで、学びの契機とします。海外(オーストラリア)の姉妹校やその他の国(アメリカの高校生や韓国の小学生など)とも、オンライン交流をしたり、小学校に来校され



た時には一緒に楽しく活動したりしています。国際教育の集大成として、6年生は、オーストラリアへの修学旅行を実施します。

メルボルンにある姉妹校コーニッシュ・カレッジの児童生徒とともに、一日行動し、交流を深めます。

他にも、メルボルン市内の観光とともに、メルボルン市内の様々な施設を見学します。実際にオーストラリアに足を運び、日本とは異なる文化に接して、たくさんのことを学びながら、その幸せを感じることができます。

チーム担任制について

2026年度から、新たに「チーム担任制」を導入します。

これまでの「自分のクラス」と「隣のクラス」という垣根を取り外し、一学年を3人の担任で交代しながら、「チーム学年」として児童を支えていきます。学年の実態に応じて、一定の期間で交代しながら担任をします。

複数の教員が協力し、専門性を活かして多角的な視点で子どもを見取りながら、学年として子どもや保護者と関わることができます。そのために、学年教員全員で、担当を分けて役割を明確化しながらも、タブレット等を活用し、情報共有と調整をこまめに行います。

子どもの状況を客観的に把握し、課題があれば三位一体で取り組んでいきます。1年生から6年生まで、学校全体の取り組みとして実施します。

そこで重要なのが、学年間の情報共有です。この共通理解のために、毎日、学年担当者が連絡を密に取っていきます。そのために、ICT機器も活用していきます。

新・学びのサイクル

6年生3学期の習熟度テストについて

これまで実施してきた、6年生の「中学入試前期試験」を受ける代わりに、小学校の6年間の学びを確認するための「学内実力テスト」を実施します。一人ひとりが自己分析や改善点を見出す「振り返り」を実施し、次に繋げることで、新たな学びのサイクルを回すことができます。

なお、中学校入試の受験を希望する場合には、後期入試や算数特化入試にチャレンジすることができます。また、様々なチャレンジの場を設け、実践していきます。



探究型学習の充実

5・6年ゼミ式の『探究クロスカリキュラム』 ～自己成長力の育成を目指して～

現在の子どもたちは、自己肯定感が低いという傾向が強く、それを改善するための一つの方法として、「自己成長力」という考え方を導入します。これは子どもたちが主体的に「なりたい自分」の可能性を広げる、新しいコンピテンシーです。

※コンピテンシーとは…単に知識やスキル・技術的な能力だけでなく、コミュニケーション能力や問題解決能力なども含んだ、総合的な能力のこと。



探究型学習の具体的な取り組み

探究型学習は、子どもたちが、自分の見つけた課題を解決するために、個人で、あるいはグループで取り組みます。そのために、各ゼミでは、教員の専門性を活かしつつ、幅広い活動に取り組めるような講座を開設していきます。また、外部機関(行政・大学・民間企業等)との連携を図りながら、2026年度から5・6年生を対象に8つの研究ゼミを開講します。各探究プロセスを経験し、成果物の発表に繋がります。

このカリキュラムがもたらす教育効果として、子どもの自律的学習への成長やリーダーシップとフォロワーシップの育成が挙げられます。また、学びの質の変化や協働→個人の発達段階に応じた展開が可能になります。

小学1・2年生

生活科の時間を用いて、探究活動の基本的な取り組みを実施します。

小学3・4年生

総合的な学習の時間を用いて、各学年ごとに、探究内容を決め、それぞれ課題を解決するための活動を行います。

小学5・6年生

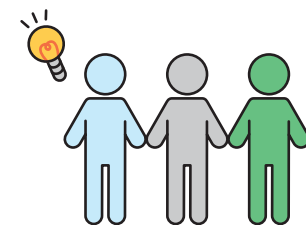
ゼミ式『探究クロスカリキュラム』という形で、大きく8つのゼミを開き、それぞれの分野で探究活動を実施します。

8つの探究ゼミ(2026年度)

2026年度は次のような探究ゼミを開設します。

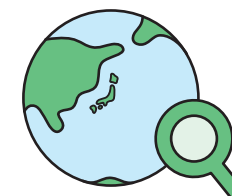
未来共生ゼミ

誰もが住みやすい未来へ。
身近な困りごとを調べ、仲間と協力して解決策を考え、地域に提案します。



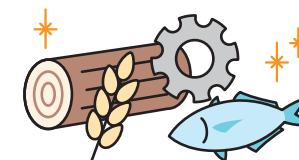
国際ゼミ

世界と自分をつなげよう。
国や地域を題材に、調べる力、話し合う力、自信を持って発表する力を育てます。



地域おこしゼミ

地域の宝を見つけ、未来へつなごう。
地域の宝を見つけ、働く人の思いに会い、「自分たちにできること」を考えて未来へ発信します。



起業家ゼミ

アイデアを形に表そう。
自分たちのアイデアを商品に変え、販売方法を提案しながら、お金の仕組みと商売の楽しさを学びます。



イベントゼミ

みんなの心を動かそう。
仲間と力を合わせ、応援やイベントを企画し、学校や地域に元気と笑顔をいっぱい楽しく届けていきます。



AIゼミ

AIと共に学ぶ力を。
問いや対話を通して、自分の可能性と視点を見つけ、未来を考える力を育てます。



自然環境ゼミ

自然のふしぎを見つけよう。
身近な自然の気づきから、観察・記録・分析を通して、生きものやその周りのことを探ります。



哲学ゼミ

考えるっておもしろい。
正解のない課題と向き合い、対話を通して解決策を見出し、実行します。



未来で羽ばたく子どもたちを

小学校・中学校・高等学校までを1本の教育軸で結ぶ12年一貫教育だからこそできる真の心の教育と、しっかりとした基礎学力を総合的に身につけられます。

将来の夢を叶え、「次世代のリーダー」として活躍できるよう、「知性」と「品格」の両面を伸ばします。



学年を超え、ともに学び合える仲間との絆

野村 志伊 さん(20期生) 智辯学園和歌山小学校6年生

私は毎朝、「智辯坂」をのぼり、その先にある校舎へ一歩踏み入れると、今日も一日始まるぞと、気分が明るくなります。それは、いつも笑顔で迎えてくれる先生方や、学年を超え、学び合える仲間がいるからです。

入学してまだ慣れていない頃、サポートしてくれたのは、一年間ペア活動を共にした6年生でした。不安だった私にとって、心強い存在で、思いやりや責任感、学校生活について教わりました。卒業した今も交流があり、来年は一緒に校舎で学べるのが楽しみです。

また、私は放課後に、ちべんアフタースクールのチアダンスを習っています。低学年、高学年の仲間と、同じ目標に向かって努力し、達成できた時はとてもうれしいです。これからも周りを応援し、元気づけられるチームを目指し、色々な舞台に挑戦していきたいと思います。感謝の心を大切に、学校行事や課外活動で仲間との友情を深め、勉強も両立できるようがんばります。

目標に向かって頑張る先輩たち *Interview*

様々な体験学習の楽しさと挑戦することの面白さ

田倉 七海 さん(5期生)

東京大学 文科三類

智辯学園和歌山小学校の知的好奇心を刺激する授業や体験学習、様々な行事は、私に学ぶことの楽しさと挑戦することの面白さを教えてくれました。

中高では刺激しあえる友人、根気強く指導してくれた先生方、背中を押してくれた家族に支えられ、バスケット部の部長や生徒会活動、課外活動にも取り組みながら、幅広く学べる東京大学へ挑戦することができました。

智辯学園で過ごした12年間で培った、周りへの感謝を忘れず、チャンスを掴んで粘り強く取り組むという姿勢は、今の仕事にも大いに活かしています。



毎日の学習習慣が自然と身についたことを実感

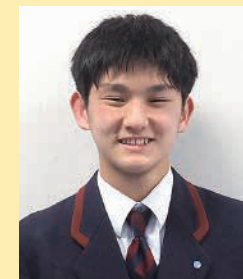
塩崎 佑 さん(11期生)

和歌山県立医科大学 医学部医学科

僕は智辯学園和歌山小学校に入学してから、毎日の学習を通して勉強する習慣が自然と身についたと感じています。そして、その習慣が現在の大学受験に向けた学びの基盤になっていると実感しています。また、授業時間が比較的長いことで、集中して物事に取り組む力も養われました。中学校では硬式テニス部に所属し、部活動と勉強を両立させる難しさと大切さを学びました。忙しい日々の中で時間の使い方を工夫する力や最後まで努力を続ける姿勢が身についたと感じています。智辯学園和歌山小学校で培った学ぶ姿勢や集中力は、今の自分の成長を支える大きな力になっています。

この学校でしか できない貴重な体験

藤原 康暉 さん(17期生)
智辯学園和歌山中学3年生



僕にとって智辯学園和歌山小学校での6年間は、日々新しいことを学べる充実した時間でした。

入学当初は電車による通学や学校生活に不安がありましたが、先生や上級生の方々が優しく導いてくれ、すぐに馴染んでいくことができました。勉強面では、先生が親身になってくださり、効率の良い勉強法なども知れたことは、今の中学校の生活でも生かされています。

課外授業では、修学旅行で初めて海外に行き、日本と異なる文化に触れ、その時間を友達と一緒に過ごすことができたのは貴重な経験となりました。

現在中学3年生になり、新しい友達も増え、部活動では硬式テニス部に入り、有意義な生活を送っています。

小学校からの 友人の大切さと、 熱中した 野球応援の感動

山野 知咲 さん(14期生)
智辯学園和歌山高等学校3年生



私は高校野球が好きで、小学校の春休みや夏休みの楽しみは、甲子園での野球応援でした。チアリーダーや応援団を先頭に、アルプス全体が一丸となって野球部を応援することに熱中しました。

高校生になり、チアリーダーとして甲子園で応援できた経験は、私の宝物です。

中学校に進学して不安に思うことや上手いかわないことがあっても、小学校からずっと今まで見守ってくれた先生方や共に過ごしてきた友人のおかげで安心して自分らしく挑戦できました。

合格実績

教職員が子どもたちの才能や能力、個性を理解し、一人ひとりに合わせた進路指導を行うことで、高い合格実績を残しています。

2026年度 難関大学合格者

智辯学園和歌山高等学校

	2026年度	2025年度	2024年度
東京大学	3名	5名	2名
京都大学	6名	10名	9名
大阪大学	8名	11名	3名
神戸大学	5名	4名	8名
和歌山県立医科大学	24名	25名	15名
(医学部)	(14名)	(13名)	(11名)
その他の国公立大学	109名	112名	82名

国公立大学 **155名 167名 119名**
(医学部医学科*) (43名) (42名) (40名)

※ 文部科学省管轄外大学校合格者含む

2026年度 2025年度 2024年度

早稲田大学	8名	12名	15名
慶應義塾大学	11名	8名	8名
同志社大学	39名	52名	29名
立命館大学	47名	69名	15名
関西大学	33名	41名	14名
関西学院大学	29名	32名	17名

私立大学 **502名 600名 329名**
(医学部医学科) (36名) (24名) (29名)

※ 一部大学は割愛しました。

充実したスクールライフ

一日の過ごし方



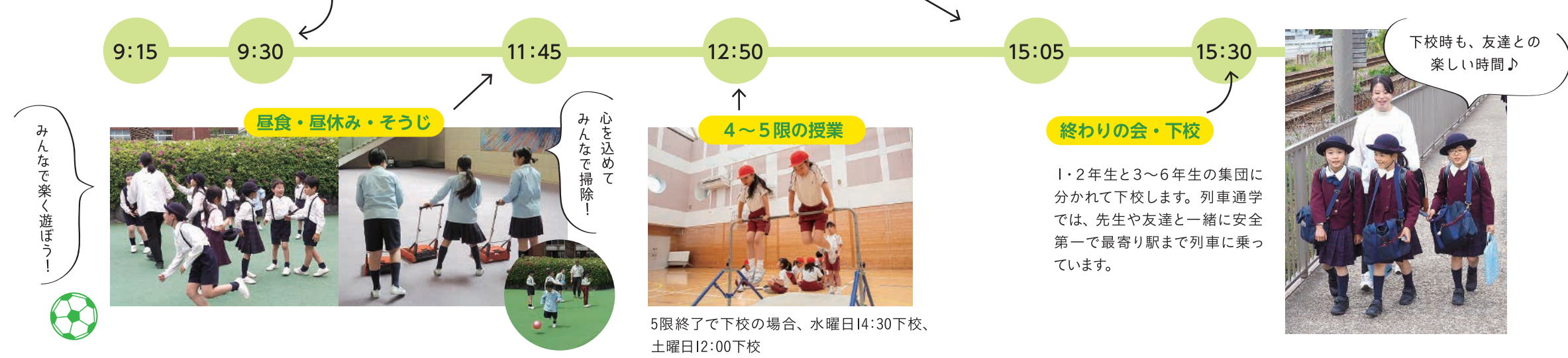
朝の会



1～3限の授業



モジュールタイム



小学校1年生の時間割例

	月	火	水	木	金	土
	登校	～9:15				
	朝の会					
1	国語	国語	国語	宗教	体育	国語
2	体育	算数	体育	生活	算数	算数
3	Eタイム	音楽	国語	国語	算数	学級活動
	昼食・昼休み・掃除					帰りの会
4	生活	図工	算数	Eタイム	生活	下校 12:00～
5	算数	図工	算数	音楽	国語	
モジュール			帰りの会			※第二土曜日は休業日
	帰りの会		下校	帰りの会		
	下校 15:00～		14:30～	下校 15:00～		

ちべんアフタースクール

アフタースクールでは、安心・安全のお預かりはもちろんのこと、学習のサポート(宿題タイムや学習教室など)を受けることができます。

小学校の方針に沿って、有意義な放課後を過ごすことができるアフタースクールです。

習い事については多彩なプログラムがあり、希望する方は学校内で習い事を受講することができます。



学外イベントの参加も積極的です。

英会話・チアダンス・サッカー・
ロボット&プログラミング・習字(硬筆・毛筆)

対応業者(明光ネットワークジャパン)※別途料金

アフタースクールの運営は、株式会社明光ネットワークジャパン(明光キッズ)が行います。

アフタースクールは、実績のある専門スタッフが責任をもって運営いたします。

年間行事

桜のアーチをくぐって
新年度スタート!

4月

- 入学式
- 1学期始業式
- 新入児童保護者会
- 授業参観
- 身体測定

5月

- こどもの日の行事
- 春の遠足
- 親子学校体験会

6月

- 水泳教室
- 学校説明会・入試説明会
- 転入試験(第1回)

7月

- 七夕まつりの行事
- 三者面談
- 1学期終業式
- 親子で星を観る会

8月

- 2学期始業式

9月

- 授業参観
- 入学試験(A日程)
- 感謝祭

10月

- 臨海学校
- 研修旅行

11月

- 転入試験(第2回)
- 入学試験(B日程)
- 野球教室

12月

- オープンスクール
- 文化祭
- 2学期終業式

1月

- 3学期始業式
- 6年生実力テスト
- 入学試験(C日程)

2月

- 節分の行事
- 和歌山幼保小教育フェア
- 転入試験(第3回)
- 修学旅行(オーストラリア)

3月

- ひなまつりの行事
- 学校説明会
- 卒業式
- 3学期終業式

1粒のお米の
ありがたさを実感!

自分の
心の中にいる
鬼を退治!

普段は見えない
星々に感動!

稲刈り

節分の行事

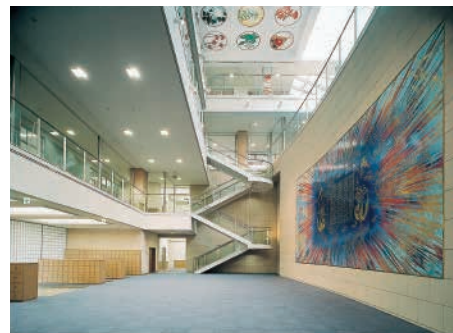
施設紹介

豊かな小学校教育を実現するために、ふさわしい教育環境を

学園の高台から、和歌浦の海に沈む夕日が眺められます。小学校の建物は、この夕日の方向を主な基軸として、構成されています。

中学高等学校の校舎及び建学記念講堂と、小学校の校舎をバランス良く配置することで、キャンパス北面に新たな顔を表現し、内装は感性を育むというコンセプトのもとに、南面にある大きな天窓から、四層吹き抜けの最下のエントランスホールへ太陽光が降り注ぎ、宇宙を表す大型美術陶板と相まって、幻想的な雰囲気を出しています。

画一化された空間ではなく、抑揚と変化に富む、包まれるような優しさや、暖かさを感じられるよう内外空間の演出を試み、“今”を生きる子どもたちに、豊かな感性を育てる学びの器となることを強く希求し、それが設計の原点です。



エントランスホール



中庭(人工芝)



建学記念講堂



給食の案内



2024年度より選択「給食」の導入を開始しました。

- 給食にするか、お弁当を持参するかは、各家庭でご判断いただきます。
- 給食の実施日は、毎週、月・水・金の3日間です。(火・木はお弁当)事前にメニュー(献立)をお知らせいたします。
- アレルギーのある方については、アレルギー対応の申込みができます。
- 給食を希望する場合には、各学期ごとの申込みとなります。

※当日の欠席者などについては返金できません。
※前日判断の臨時休業や事前に分かっている長期入院等については、返金可能です。

対応業者(株式会社 河北食品)

和歌山県外食産業協同組合加盟、(社)日本弁当サービス協会加盟、和歌山市食費衛生協会加盟



感謝の心と 強い絆 そして未来へ

Message
ごあいさつ



のびのびと いきいきと 子どもたちの夢を育てたい

智辯学園和歌山小学校は、21世紀が要請する叡智と深い人間性を備えた真のエリート、すなわち「真」・「善」・「美」・「聖」の高い価値を身につけた人材の育成を目指して、2002年4月10日に開校しました。

小・中・高を見通した教育軸の中で受動的知識の習熟の教育から能動的知識の習熟の教育プログラムを構築し、あわせて、豊かで喜びのある、何事にも意欲的にとりくめる人間性を育むために「こころ」の教育を推進し、12年一貫教育だからできる教育を通して、のびのび・いきいきと「子どもたちの夢」を育てたい、そのような教育を実践しています。

学校法人 智辯学園 理事長 藤田 清司

あたたかい教育で 豊かな人間性を培う

智辯学園和歌山小学校は、2002年4月に開校し、2026年度で25年目を迎えました。小学校・中学校・高等学校と、12年一貫教育を実践しております。

今年度から「学びと幸せを探究する小学校 ～学びの主人公になろう～」を目標に掲げ、児童一人ひとりの自己肯定感を高め、将来大きく羽ばたくための力を育成するために、様々な活動が展開できるよう、新たな取り組みを導入しました。

また、開校以来大切にしてきた、「豊かな人間性を育む」と、「能力の最大伸長」を実現するために、「あいさつ」・「ありがとう」・「あとかたづけ」の3つの“あ”を備えた豊かな心を育むとともに、「自己成長力」を根幹に据えた「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指します。

智辯学園和歌山小学校 校長 長峯 宏明

